

海津市自転車活用推進計画骨子（案）

1. 現状と課題

県の自転車活用推進計画、アンケート及び関係者へのヒアリング結果を基に、以下の4つの観点で現状と課題の分析を行いました。

<都市環境>

- (1) 自転車通行空間の整備不足…自転車専用道、通行帯の整備が不十分
- (2) 自転車利用環境の整備不足…サイクリスト用駐車場、サイクルラック等の整備が不十分
- (3) まちづくりとの連携不足…自転車活用の観点を取り入れたまちづくり施策が不十分

<健康増進>

- (1) 自転車利用率の低さ…日常移動手段の9割が自動車
- (2) サイクリングに対する健康意識不足…健康づくりにサイクリングを取入れる割合約9%
- (3) サイクルスポーツへの理解度不足…自転車関連の取組が市民に浸透していない

<観光振興>

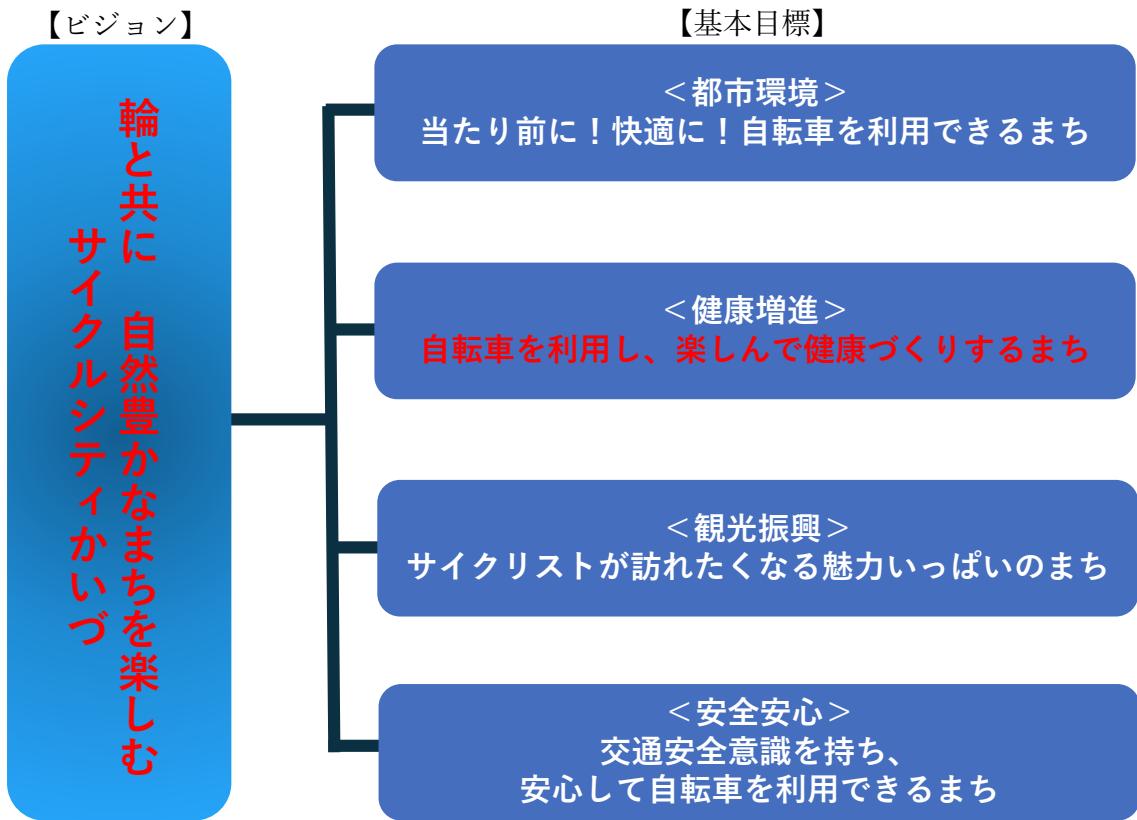
- (1) サイクリングコースの整備不足…サイクリスト向けのコース設定なし
- (2) サイクリストへの情報発信不足…サイクリスト向けの情報発信ツールが不十分
- (3) 自転車関連イベントの不足…サイクルツーリズムを推進するイベントが不足

<安全安心>

- (1) 自転車利用時の安全意識不足…整備率、ヘルメット着用率の低さ等
- (2) 自転車保険の加入率の低さ…義務化された地域と比べ、保険加入率が低水準
- (3) 学校における安全教育の必要性…2校の小学校において自転車通学の児童がいること

2. ビジョンと基本目標

現状と課題の分析を踏まえ、以下の通り、ビジョンと基本目標を定めました。



3. 施策の方向

以下項目に関し施策の方向を定めました。

<都市環境> 当たり前！快適に！自転車を利用できるまち

(1) 自転車ネットワーク計画の策定
関連計画と連携した自転車通行空間の整備を推進するため、総合計画等との整合性を図り、自転車ネットワーク計画を策定します。

(2) 安全な自転車通行空間の整備
安全な走行環境を確保するため、自転車専用道路や自転車通行帯等を整備します。

(3) 快適な自転車利用環境の整備
快適な自転車環境を整備するため、サイクリストのための活動拠点、ウォータースポット等を整備します。

<健康増進> 自転車を利用し、楽しんで健康づくりするまち

(1) 自転車利用の日常化
市民の健康増進のため、通勤・通学や買い物等、日常生活のあらゆる場面で自転車を選ばれる環境を整備します。

(2) 自転車を活用した健康づくりの促進
市民の健康に対する意識を高めるため、SNSや動画等あらゆる媒体を活用し、サイクルエクササイズの効果を広く周知します。

(3) サイクルスポーツの普及
幅広い年齢層におけるサイクルスポーツの普及を図るため、サイクリングコースの再設定やロードバイクだけでなく、シティサイクルでも楽しめるイベントを開催します。

<観光振興> サイクリストが訪れたい魅力いっぱいのまち

(1) 魅力的なサイクリングルートの整備
本市の観光資源や自然景観、歴史文化、アクティビティを活かしたサイクルツーリズムを推進するため、広域ルートと連携した、魅力いっぱいのサイクリングコースを設定します。

(2) サイクリストへの情報発信の強化
サイクリストの誘客を図るため、サイクリングコースや、サイクルラック、サイクリスト向けの飲食店等の情報をマップやSNS等で発信します。

(3) サイクリングイベントの開催
地域全体の活性化のため、誰もがサイクリングイベントを開催できるように支援します。

(4) サイクリスト受入環境の整備
サイクリストが求めるサービスや施設について地域全体で共有し、質の高いサービスを提供するため、ガイドライン等を策定し、受入環境を整備します。

(5) レンタサイクルの推進
来訪者の自転車利用促進と周遊性向上を図るため、養老鉄道等と連携したレンタサイクルの拡充について取り組みます。

<安全安心> 交通安全意識を持ち、安心して自転車を利用できるまち

(1) 自転車の安全利用の促進
安全利用を促進するため、サイクリストだけでなく、ドライバーや歩行者に対しても、交通ルールの徹底等、安全利用意識の向上を目指します。

(2) 自転車保険の加入促進
加入促進を図るため、市報等を活用し、保険加入のメリット等を周知します。

(3) 学校における交通安全教育の推進
子どもたちが安全に自転車を利用できるまちを目指すため、小中学校における交通安全教室の開催、通学路周辺の安全点検等を実施します。